

外国語カリキュラム Can-doリスト策定・公開の意義について

香港大学日本研究学科
萬 美保

2018年3月10日

「東アジア圏の複言語主義共同体の構築—
多言語社会香港からの示唆」第9回例会：
報告会・情報交換会

平成27年度～29年度の業績

- * 「香港大学日本語スタンダード策定について」 (2018)
- * 「『JLPTUFSアカデミック日本語Can-doリスト』への期待」 (2017)
- * 「外部指標としてのCan-doリストと単位互換のプロセスについて」 (2017)
- * 「教師または大学主導による学生のための国際体験」 (2017)
- * 「学習活動としてのディベート：SOL0分類による行動観察」 (2017)
- * 「日本語カリキュラム改訂の背景と手順Can-doリストの役割について—『香港大学日本語スタンダード』の例」 (2017)
- * 「香港大学日本研究学科における日本語Can-do-statementsの開発と実施」 (2016)

意義：学習の流動化への対応

- 留学増加

留学先で入るレベルは適切か？
留学後に入るレベルは適切か？ } つながりは？

両校の指導内容は照合・比較できるか？



**単位互換・成績認定・必修科目免除等の
判断の妥当性に影響**

学習の流動化に対応できるか？
学習の継続は容易か？

意義：学習背景の多様化への対応

- 既修者増加（大学間移動の場合も含む）

入学前の学習経験多様化
入学時の習得レベル多様化



学年に関わらず、適切なレベルに入れているか？



各レベルの目標・指導内容の**記述**を通して全体を見直す必要がある

学習背景の多様化に対応できるか？
学習の継続は容易か？

意義： 言語スタンダードの動向

EU: CEFR

米国：全米指標(National Standards)

カナダ：Canadian Language Benchmarks (CLB)

日本：JF日本語スタンダード

TUFSJLC日本語スタンダード

JLPTUFSアカデミック日本語Can-doリスト

など

意義：大学の教育方針の可視化

「何をどのように教育するのか」

「教育の結果としてどんな成果を生むのか」

- 協定校増加、大学間ネットワークにおける学生・教員間の交流増加、国際的な競争

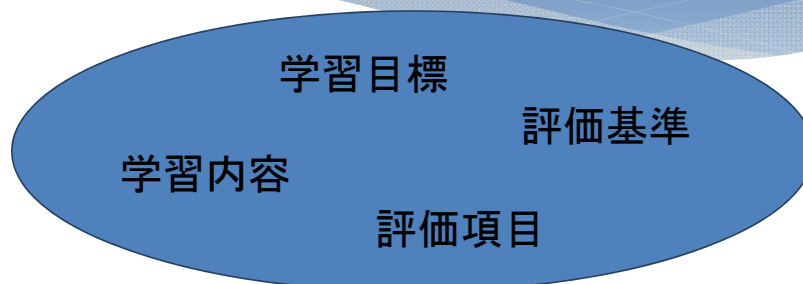
↓ **グローバル化**

- 教育目標・指導内容の明文化、透明性が求められる
- 教育の流動性の中で学習の継続を容易にする
- 教育の質を保証・保障、教育の公共性

意義：教師の満足度

- 教師間で**目的を共有**できる
- 教師間で**情報を共有**できる（指導内容等）
- 教師としての**自信**に繋がる
- 指導全体の**整合性**が高まる
- 効果的な指導**に繋がる

意義：学生にとっての利点



↓ 可視化

動機づけ **自律学習** **自己評価**

HKU日本語スタンダードを使った 現在の取り組み

内部指標として+学生への浸透のため

- **モニタリング**
 - 教師間の話し合い
 - 学生の反応・達成度観察、実際指導
 - ↳ レベル内の整合性・レベル間の連続性・評価基準の精査→スタンダードの記述調整
 - 課題：理解技能の記述
- **採点基準・成績評価基準の公表**

HKU日本語スタンダードを使った 現在の取り組み（続き）

内部指標として+学生への浸透のため

- 日本語必修科目用スタンダードと日本語選択科目・日本文化社会**選択科目との関連性**
- **学生への説明**（目標と学習内容の関連性）
- ✓ 学生の日本語能力**自己評価ツール、Eポートフォリオ開発**
 - ↑↑
 - 学生向け能力記述、サンプルデータ、タスク、チェックリスト、練習問題を含む（Moodle+Mahara）

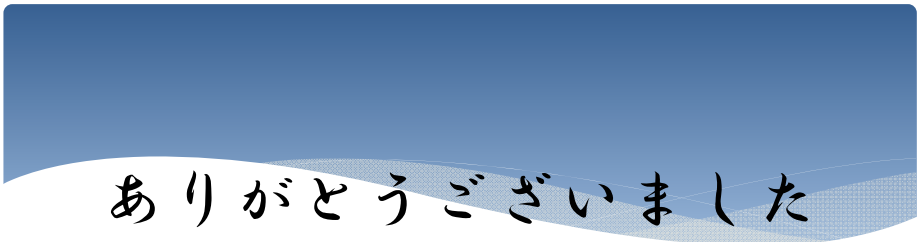
HKU日本語スタンダード

外部指標として

- 交流協定校間連携、留学指導、単位互換における利用
- 外部評価の資料として利用
- 他プログラムの閲覧に利用

外国語カリキュラム見直しの必要性 チェックリスト

- 課程終了後のゴールは明確化か？
- 各レベルの指導目標は明確か？
- 外国語科目（レベル）間のつながりは適切か？
- 目標に到達できるような内容・方法で指導しているか？
- 指導したことについて評価しているか？
- 教師は目標・指導・評価への理解を互いに共有しているか？
- 学生は学習目標を認識しているか？
- 学生は評価項目と評価基準を認識しているか？
- これらは学外にも可視化されているか？



ありがとうございました

Eメール : myorozu@hku.hk